

## 予 算 要 求 資 料

令和3年度当初予算 支出科目 款：商工費 項：商工費 目：工鉱業振興費

### 事業名 セラミックパークMINO環境整備事業費

(この事業に対するご質問・ご意見はこちらにお寄せください)

商工労働部 地域産業課 地場産業振興係 電話番号：058-272-1111 (内 3097)

E-mail：[c11355@pref.gifu.lg.jp](mailto:c11355@pref.gifu.lg.jp)

1 事業費 500,527千円 (前年度予算額：75,450千円)

#### <財源内訳>

区 分	事業費	財 源 内 訳							
		国 庫 支出金	分担金 負担金	使用料 手数料	財産 収入	寄附 金	その他	県 債	一 般 財 源
前年度	75,450	0	0	0	0	0	0	66,680	8,650
要求額	500,527	0	0	0	0	0	0	450,400	50,127
決定額	498,230	0	0	0	0	0	0	430,200	68,030

## 2 要求内容

### (1) 要求の趣旨 (現状と課題)

セラミックパーク MINO (以下、「当施設」) は、建設から 18 年が経過し、施設の適正な管理運営を図るうえで設備等の定期的なメンテナンスや老朽化に伴う修繕等が必要となっている。

### (2) 事業内容

(下記の5工事は、いずれも「県有施設中長期保全計画」に基づくもの)

#### ○照明器具更新工事

本館2階、3階及びフォーリー等の照明器具について、更新推奨時期(20年)が到来するため、計画的に更新(LED化)する。

#### ○空気調和機(エアハンドリングユニット等)更新工事

館内の空気調和機(約30台)について、竣工以来一度も更新しておらず、更新推奨時期(20年)が到来するため、計画的に更新する。

#### ○冷却塔更新工事

室内の熱を室外に放出する冷却塔について、竣工以来一度も更新しておらず、不具合等も出始めていることから、更新を行う。

○電話交換設備更新工事

館内の電話交換設備について、更新推奨時期（20年）が到来するほか、電波法改正に伴い令和4年11月までに設備更新が必要なため、更新を行う。

○給排水ポンプ更新工事

施設に設置されている給排水ポンプ（池循環・湧水）について、不具合等も出始めていることから、更新を行う。

○セラミックパーク MINO 劣化調査・修繕計画策定等業務委託

当施設は多くの設備が更新時期を迎えているほか、今後は施設の修繕も予定されている。そこで、施設・設備の劣化状況と修繕に要する費用を詳細に把握し、施設全体の長期的な修繕計画に正確に反映することが必要である。

このため、建築・建築設備の劣化診断を行い、施設全体の長期修繕計画を策定する。

（3）県負担・補助率の考え方

当施設の指定管理者である（公財）セラミックパーク美濃との基本協定において、60万円以上の修繕にかかる費用は県が負担することとなっており、上記事業は修繕にかかる経費として県が実施すべきものである。

（4）類似事業の有無

無

3 事業費の積算内訳

事業内容	金額	事業内容の詳細
工事請負費	474,735	照明器具更新工事（令和3年度分） 129,780 （※令和3～4年度分 合計：324,450） 空気調和機更新工事（令和3年度分） 272,308 （※令和3～4年度分 合計：680,770） 冷却塔更新工事 36,080 電話交換設備更新工事 22,737 給排水ポンプ更新工事 13,830
事務費	390	旅費（273）、消耗品費（12）、燃料費（39）、 会議費（8）、印刷製本費（20）、役務費（38）
委託料	25,402	空気調和機更新工事に伴う美術品移動委託 4,250 劣化調査・修繕計画策定 21,152
合計	500,527	

#### **決定額の考え方**

長寿命化分について、年度間の平準化のため、工事の一部計上を見送ります。  
一般分について、過去の落札率（0.95掛）を参考に所要額を計上します。  
現代陶芸美術館の空調機器・照明機器の更新事業費を計上します。

#### **4 参考事項**

##### **（１）後年度の財政負担**

施設の老朽化が進んでいることに伴い、中長期保全計画の策定時点では想定できなかった修繕・故障個所が発生しており、当該計画を適切に見直し、正確に把握する必要が出てきている。

今後、劣化状況を調査し計画に反映することで、長期的な観点から計画的な修繕・工事を行っていく。

# 事業評価調書（県単独補助金除く）

<input type="checkbox"/>	新規要求事業
<input checked="" type="checkbox"/>	継続要求事業

## 1 事業の目標と成果

### （事業目標）

・何をいつまでにどのような状態にしたいのか  
 当施設が、美濃焼はもとより美濃焼産地の魅力を国内外へ発信し、本県の産業・文化振興を図るため最大限活用される拠点施設であり続ける。

### （目標の達成度を示す指標と実績）

指標名	事業開始前	指標の推移		現在値	目標	達成率
来館者数	(H )	250,259 (H29)	249,991 (H30)	184,126 (R1)	228,125 (R3)	80.7%

### ○指標を設定することができない場合の理由

### （前年度の取組）

・事業の活動内容（会議の開催、研修の参加人数等）  
 セラミックパークMINOのオープン以来、施設利用促進、利用者の安全確保のため、適宜、修繕・工事など改善策を講じてきた。

- ・平成14年度 茶室前仮設ステージ設置
- ・平成15年度 ITサロンの設置、世界の名窯の展示、国際陶磁器フェスティバル美濃寄贈作品の展示
- ・平成16年度 オリベ情報発信のコーナー整備、案内板増設、エスカレーター自動運転装置設置、携帯電話の電波改善、セラパークバス乗入れ開始
- ・平成17年度 展示用長机の追加購入、清掃機材の購入
- ・平成18年度 搬入搬出道路拡幅、防犯カメラ映像記録装置購入
- ・平成19年度 ネットワーク機器（L3スイッチ）更新
- ・平成20年度 ネットワーク環境の変更整備（クライアント環境設定変更、WEBデータ移行、ファイアウォール設定変更）
- ・平成21年度 滝転落防止柵設置、展望台床木材張替及び屋外階段木材改修、空冷内融式氷蓄熱ヒートポンプ・オーバーホール更新、自家用発電バッテリーの買い替え
- ・平成22年度 茶室横壁壁面補修工事

・平成23年度	水中ろ過ポンプ更新、中央監視装置更新工事、災害復旧工事
・平成25年度	雨漏り修繕工事
・平成27年度	ディーゼル発電設備メンテナンス
・平成28年度	排煙駆動装置修繕工事、給水直圧管修繕工事
・平成29年度	2階北側廊下カーペット取替業務
・平成30年度	2階北側廊下壁面・扉等修繕工事 茶室周辺整備事業 施設案内看板（屋外）修繕工事 屋外階段木製踏板全面取替工事
・令和元年度	プロパンガス供給設備更新工事 屋上タイル等修繕工事 本館1階及びM2階照明器具更新工事 搬入口前駐車場補修修繕工事 事務室排煙窓修繕工事 便所前廊下雨漏り修繕工事 池循環・ろ過ポンプ修繕工事 高圧気中開閉器更新工事 Wi-Fi環境整備工事 仮設配管及びバイパス配管施設工事 雑用水加圧給水ポンプ更新工事

(前年度の成果)

<p>・前年度の取組により得られた事業の成果、今後見込まれる成果</p> <p>令和元年度の施設利用者を対象にしたアンケート調査では、施設の使い勝手について、「良い」と答えた施設利用者は80%、「普通」と答えた利用者は17%となっている。</p>
---

**2 事業の評価と課題**

(事業の評価)

<p>・事業の必要性（社会経済情勢等に沿った事業か、県の関与は妥当か）</p> <p>○：必要性が高い、△：必要性が低い</p>	
(評価)	<p>○ 当施設を訪れる年間25万人程の来館者が安全・安心かつ快適に施設を利用するためにも、当事業は必要不可欠である。</p>
<p>・事業の有効性（指標等の状況から見て事業の成果はあがっているか）</p> <p>○：概ね期待どおり又はそれ以上の効果が得られている、△：まだ期待どおりの成果が得られていない</p>	

(評価) ○	令和元年度の施設利用者を対象にしたアンケート調査では、施設の使い勝手について、「良い」と答えた施設利用者は80%、「普通」と答えた利用者は17%となっており好評価を得ている。
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業の効率性（事業の実施方法の効率化は図られているか）</li> </ul> ○：効率化は図られている、△：向上の余地がある	
(評価) ○	当施設は、建設から18年が経過し、竣工以来一度も更新しておらず、また不具合等も出始めていることから、故障や破損が起きた場合のリスクを考慮し、定期的な修繕・メンテナンスを適切に行い、影響を最小限に止めることが必要である。

(今後の課題)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 事業が直面する課題や改善が必要な事項</li> </ul> 陶磁器産業は、ライフスタイル・価値観の変化や安価な外国製品の流入等による市場の縮小、担い手の減少など厳しい状況にさらされており、陶磁器文化・産業振興の拠点として当施設の役割を一層果たしていく必要がある。
--

(次年度の方向性)

<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 継続すべき事業か。県民ニーズ、事業の評価、今後の課題を踏まえて、今後どのように取り組むのか</li> </ul> 今後、修繕が必要な箇所も年々増えていくと思われることから、中長期保全計画を見直しながら計画的な施設保全に努めるとともに、日常点検により不具合等を早期に発見することで修繕経費を最小限に抑え、来館者の安全・安心と快適な施設利用に努めていく。
--

(他事業と組み合わせて実施する場合の事業効果)

組み合わせ予定のイベント又は事業名及び所管課	【○○課】
組み合わせて実施する理由や期待する効果 など	